

令和3年度補正予算（第1号）の概要

I. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止 186,059億円

1. 医療提供体制の確保等 44,783億円

- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（病床確保等）〔20,314億円〕
- 新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備・接種の実施〔12,954億円〕
- 治療薬の確保〔6,019億円〕 等

2. 感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援 141,276億円

(1) 事業者への支援

- 事業復活支援金〔28,032億円〕 ○ 資金繰り支援〔1,403億円〕（既定経費の活用を含めると30,245億円）
- 時短要請等に応じた飲食店等への協力金等（地方創生臨時交付金）〔64,769億円〕 等

(2) 生活・暮らしへの支援

- 住民税非課税世帯に対する給付金〔14,323億円〕
- 緊急小口資金等の特例貸付〔4,581億円〕 ○ 新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金〔937億円〕
- 学生支援緊急給付金〔675億円〕 ○ 住居確保給付金〔100億円〕
- 雇用調整助成金の特例措置等〔6,547億円〕 ○ 雇用保険財政の安定〔17,422億円〕 等

(3) エネルギー価格高騰への対策

- 輸送用燃料に係る負担軽減制度等〔800億円〕（既定経費の活用を含めると893億円） 等

II. 「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え 17,687億円

1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開 8,336億円

- 「新たなGo Toトラベル事業」〔2,685億円〕（既定経費の活用（含む地域観光事業支援）を含めると13,239億円）
- 予約不要の無料検査の拡大（地方創生臨時交付金）〔3,200億円〕 等

2. 感染症有事対応の抜本的強化 9,351億円

- ワクチン・治療薬の研究開発・生産体制の整備〔7,355億円〕 等

Ⅲ. 未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動

82,532億円

1. 成長戦略

62,579億円

(1) 科学技術立国の実現

- 大学ファンド〔6,111億円〕 ○ ムーンショット型研究開発〔800億円〕
- ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業（最先端半導体等の技術開発）〔1,100億円〕
- 宇宙分野の研究開発の推進等〔933億円〕 ○ 蓄電池の国内生産基盤の確保〔1,000億円〕 等

(2) 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」

- 地方のデジタルインフラ整備〔571億円〕 ○ マイナポイント第2弾（仮称）〔18,134億円〕
- デジタル田園都市国家構想関連地方創生交付金（仮称）〔660億円〕
- 中小企業等事業再構築促進事業〔6,123億円〕 ○ 中小企業生産性革命推進事業〔2,001億円〕
- 農林水産業の輸出力強化、成長力強化〔3,200億円〕 等

(3) 経済安全保障

- 先端半導体の国内生産拠点の確保〔6,170億円〕
- 経済安全保障重要技術育成プログラム（ビジョン実現型）〔2,500億円〕 等

2. 分配戦略 ～安心と成長を呼ぶ「人」への投資の強化～

19,952億円

- 子育て世帯に対する給付〔12,162億円〕（11/26コロナ予備費使用分を含めると19,473億円）
- 労働移動の円滑化・人材育成の強力な推進〔640億円*〕（特別会計分を含めると0.1兆円程度）
- 看護、介護、保育、幼児教育などの現場で働く方々の収入の引上げ〔2,600億円〕
- 保育・放課後児童クラブの受け皿整備〔618億円〕 等

Ⅳ. 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保

29,349億円

- 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策（公共事業関係費）〔12,539億円*〕
- 災害復旧〔4,870億円〕 ○ 自衛隊の変化する国際情勢への即応的な対応等〔7,354億円〕 等

■ 補正予算の追加歳出計

315,627億円

* 他の柱に整理されている事業も含んだ金額

(参考1) 令和3年度補正予算（第1号）においては、上記「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実行に係る国費に加え、地方特例交付金、国際分担金等の追加財政需要〔2,135億円〕等を計上。

(参考2) 上記のほか、労働保険特別会計における3,841億円の歳出追加等を計上。